

JARL 高知県支部の歩みとエピソード

- 1952(s27) アマチュア無線が再開
四国 JA5AA 局 久米氏（徳島市沖浜町）予備免許付与
高知県では JA5A0 局 村井氏（高知市加賀野井）開局
- 1953(s28) J A R L 四国支部が発足 初代支部長に JA5AF 局 大塚氏就任
- 1968(s43) J A R L 四国支部持回（高知県は JA5KN 局 倉橋氏事務局運営）
- 1972(s47) 四国支部 4 回目の担当県で土佐クラブを結成（地域クラブ登録）
土佐クラブ会長に JA5BM 局（1954 開局）西川氏が会長就任
J A R L 高知県支部長に JA5BM 局が就任
（高知県支部顧問 JA5BM 局（2019 サイレント局））
- 2010(h22) J A R L 高知県支部長に JH5QH0 局 藤戸氏が就任
（高知県支部顧問 JH5QH0 局（2025 サイレント局））
- 2021(R03) J A R L 高知県支部長に JH5RDS 局 乃一氏が就任（現在に至る）

初代支部長を支えた OM 局のエピソード

四国 4 県支部組織の最後は高知県、支部長の選任には地域クラブの登録が必要で、6M クラブ続いて土佐、室戸台風、桂浜、よさこいクラブなど 16 団体のクラブが順次結成さる。

支部長には 39-1-2 土佐クラブ会長 JA5BM 局が選任される。

組織の役員 支部長 JA5BM 総括 JA5KN 技術 JA5EB 指導 JA5UI の各局
それに各地域クラブの代表者で運営する。

学校クラブは高知大学 39-2-1、特殊クラブ 39-4 は 19 団体となる。職域クラブ 39-3 の結成はなかった。

役員各局ともに技術者で、支部長は人柄良く組織的な自らの発言はほとんど無く、意見を黙って聞き、集いや会議は各局の意見で流れが進み、何時の間にか各局が納得し、時間が来たので終わろうか。そこには組織全体を動かす影武者的存在の JA5FE 局の存在もあった。

HAM 局がアマチュアコードを心得、エリート的意識を持ち、支部大会は地域クラブが担当するなど組織に意欲・積極的に協力した。支部組織当初の回顧として記すものです。